

平成 31 年 3 月 11 日

十日町市教育委員会
教育長 蔵 品 泰 治 様

十日町市学区適正化検討委員会

委員長 高 橋 敏 昭



十日町市立小・中学校の望ましい学区について（答申）

平成 30 年 7 月 3 日付、十教総第 94 号で諮問された「十日町市立小・中学校における望ましい学区に関する事項」について、子どもたちにとってより良い教育環境の整備と、充実した学校教育の実現に資するべく、第 1 次方針の計画期間の検証に基づく課題や学校視察を含め、多方面から慎重に審議した結果、別冊「十日町市立小・中学校の望ましい学区について」のとおり答申します。

なお、計画の推進に当たっては、下記の事項について十分配慮されることを要望します。

記

- 1 小学校の学区再編については、教育委員会の主導のもと、目標年度に向けて早期に複式学級の解消推進をお願いします。
- 2 中学校の学区再編については、多様な活動やクラス替えが可能となる 1 学年 2 学級以上となるよう、目標年度に向けて早期の再編を望みます。
- 3 単に複数の学校を一つにまとめることにとどまらず、相互の学校の良いところを引き継ぎながら、地域に根ざした特色ある新しい学校教育を実現するために、多方面に配慮しながら進めていただきたい。
- 4 学校の再編に当たり、学校間・地域間の協議や調整が必要であり、保護者や地域住民の理解と協力が得られるよう、十分に協議するよう望みます。